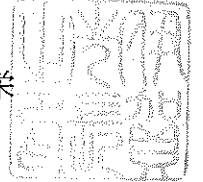




伊総第 1154 号
平成 29 年 1 月 30 日

伊賀市議会議長 北出 忠良 様

伊賀市長 岡 本 栄



新年度予算編成等に向けた意見に対する回答について

平成 28 年 12 月 5 日付け伊議第 591 号で要望のありました標記のことについて、別紙のとおり回答します。



新年度予算編成等に向けた意見に対する回答

事務事業名	庁舎維持管理経費
所管部署名	財務部管財課

意見等	1 業務委託における契約方法（競争入札、随意契約）を見直すこと。
-----	----------------------------------

(回答)
平成 29 年度の業務委託契約について、競争入札を原則基本とし、地方自治法施行令第 167 条第 2 項及び第 3 項並びに第 167 条の 2 第 6 項及び第 7 項に基づき、当市に不利益が生じない方法で契約を行います。

意見等	2 本庁での一括契約または基準作成による統一された契約監理体制に改めること。
-----	--

(回答)
施設管理において、「同一施設の複数契約の統合」「複数施設の同種業務の統合」について、スケールメリットを活かした合理化が可能な委託業務の再選定を行います。

意見等	3 契約期間（単年度、複数年）の見直しなどによる経費節減にいつそう取り組むこと。
-----	--

(回答)
庁舎その他の施設の維持管理業務又は運営に伴う業務の委託契約は、「伊賀市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例」には、含まれておらず、会計年度独立の原則により、単年度で契約している状況です。
しかし、長期継続契約とした方が、価格変動のリスク軽減や契約事務の効率化、委託先としても経営の安定につながる等のメリットが考えられる委託業務について、長期継続契約が可能であるか検討します。

事務事業名	市有財産管理経費
所管部署名	財務部管財課

意見等	1 代替地のストック量の見直しなど財産管理について明確なルール化すること。
(回答)	事業代替地の必要性を把握し、不要な土地については未利用地リストに掲載するなど財産管理に努めます。

意見等	2 売却に向けた未利用地リストの公表などに努めること。
(回答)	未利用地リスト作成の上、市有地売却に向け、公表できるよう取り組みます。

意見等	3 管理（解体も含む）に対する基金の活用を検討すること。
(回答)	公共施設最適化計画に基づき、必要となる公共施設の取壊し等の経費に充てるため、土地建物売払収入及び貸付収入等を積み立てるなど基金の活用を検討します。

事務事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・重度障害者タクシー料金等助成事業 ・障害者施設通所費助成事業
所管部署名	健康福祉部障がい福祉課

意見等	<p>1 障害者施設通所費助成事業の重度障害者タクシー料金等助成事業への統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設通所費助成事業廃止により当該事業のみが助成対象となる障がい者に対しては、重度障害者タクシー料金等助成事業へ統合するなど受け皿を拡充することを要望する。 ・当該事業が統合されるまでは継続させること。 ・当該事業の統合又は継続にあたっては、各事業の助成額が出来る限り同一水準となることに考慮すること。
-----	---

(回答)

ご意見を頂戴しました2つの事業につきましては、重複して2つの助成を受ける障がいのある人に関しては、今年度に要綱を改正し重複助成を整理しました。一方、タクシー等助成事業については、障害者手帳の等級上位を対象としているため、来年度に通所費助成事業を廃止すると、50名以上の方が双方のサービスを受けられない状況になってしまいます。

頂戴いたしましたご意見を受けまして、まずは、通所費助成事業を継続していくように助成内容を含め検討してまいります。

意見等	<p>2 重度障害者タクシー料金等助成事業の助成額引き上げと制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で最低となっている助成額の引き上げを要望する。 ・助成額引き上げにあたっては、事務事業が煩雑にならない事、即日交付など利用者の利便性を極力損なわないこと及び単に助成額だけの引き上げにならないこと等に考慮すること。 ・所得制限や障害の度合いに応じた助成額の見直しをおこなうこと。
-----	--

(回答)

社会情勢の変化や財政事情についても慎重に考え、持続可能な制度構築を行う必要がございますので、当該事業の見直しに関しましては、慎重に取り組んでいきたいと考えます。なお、所得制限等により対象者を限定することにより、窓口での即日交付が難しい状況(事務処理)になります。これらの課題等を整理したうえで、有益な助成体系を構築する必要があると考えます。

意見等	<p>3 予算措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設通所費助成事業及び重度障害者タクシー料金等助成事業の制度見直し等にかかる必要な予算措置を要望する。
-----	---

(回答)

頂戴しましたご意見は重要なものと考え、少しでも予算措置ができるよう財務部と協議してまいります。

事務事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談事業 ・母子・父子自立支援事業 ・女性相談事業 ・子育て支援対策事業
所管部署名	健康福祉部こども未来課

意見等	<p>1 児童虐待に関する全児童への調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待について、小中学校全児童（可能であれば幼稚園・保育所の幼児）に対して1年に1度専門機関等による調査を行うことを要望する。
<p>(回答)</p> <p>児童虐待の被害にあっている児童をもらすことなく発見するための手法として全校調査のご提案をいただいたかと推察いたします。これにつきましては、被虐待児からの何かしらのSOSサインを見逃さず、これをいかに発見していくかが非常に重要であると感じております。学校や保育所（園）、幼稚園等における発見を徹底するだけでなく、こども発達支援センター、家庭児童相談員の巡回訪問により、継続してサインを見つけていきたいと考えています。</p> <p>そのため、関係部署並びに関係機関の一層の連携強化を図り、伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会等において迅速かつ適切な発見に努めるとともに、地域においても虐待の発見や通報など見守り体制に対する啓発を行っていきたいと考えています。</p>	

意見等	<p>2 相談業務の体制強化と情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法改正による児童虐待にかかわる社会福祉士などの専門職の配置と併せて、件数の増加する相談業務体制の強化を要望する。 ・伊賀市要保護児童及びDV対策協議会を中心として関係機関・部署が常に情報共有できる体制やシステムを早急に整えることを要望する。
<p>(回答)</p> <p>伊賀市では法改正以前から相談業務を担当する職員がより専門的な知識を有することが非常に重要であるにとらえ、児童福祉司たる資格取得研修会に積極的な参加を心がけて参りました。このたび、専門職配置が法的に明記されたことに伴い、市にも明確に位置づけられた責務や増加する件数に対応するための体制強化は必須であると考えます。これを受けて、新年度から児童福祉司の資格を有し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律にも精通した非常勤嘱託職員1名を新たに専門職として配置し、体制を強化したいと考えています。</p> <p>また、伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会で協議された内容に基づき情報共有の体制を構築しているところですが、今後は構成団体と個別に意見交換を重ね、その機関の活動に応じた情報共有体制を充実強化する中で、対応したいと考えています。</p>	

意見等	<p>3 予算措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待に関する全児童への調査及び相談業務体制強化と情報共有に必要な予算の措置を要望する。
<p>(回答)</p> <p>調査及び体制強化は、専門性を有する人員確保が重要であると考えます。部に配分された予算には限りがありますが、専門職の確保を最優先とする中で、関係機関によるより強固なネットワークが構築できるよう、連携を図ってまいりたいと考えています。</p> <p>当課としましても、非常に重要なご意見として、引き続き少しでも予算措置ができるように努力してまいります。</p>	

事務事業名	着地型観光推進事業経費
所管部署名	産業振興部観光戦略課

意見等	1 「いがぶら」の参加者におけるリピーターの集計は、アンケートという手法で行っているが、2人以上の団体の場合は代表者のみしか集計されていない。参加者全員を対象にするなど、より詳細な集計を行くことで実効性のある施策となるよう取り組んでもらいたい。
-----	--

(回答)	いがぶら参加者へのアンケートは各パートナーに協力をお願いしており、昨年度のアンケート回収率は約 60%でした。ご意見を承り、更に回収率が高まるような方策を検討します。
------	---

意見等	2 施設への入場者数のカウント方式から、「いがぶら」にプログラムを提供した各店舗の売上高の伸び率等の調査を行い、効果を検証すべきである。
-----	--

(回答)	経済的効果も含め、いがぶらに参加することでどのような効果があるのかという視点で、適切な調査方法を検討します。
------	--

意見等	3 自主運営されている民間団体「語り部の会」は、休日になると観光客からの需要が多いと聞いている。今以上に活躍してもらうために、行政としてのサポートを充実させていってほしい。
-----	--

(回答)	「語り部の会」の活動支援として、活動日に語り部の会・会員の駐車場スペースが確保できるよう要望があったので実現するように管財課と協議中です。
------	---